

③協力詰 79手「隴車」
神無三郎

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				金	金	銀	角	飛
					歩	歩	金	角
					歩	桂	歩	香
			銀				桂	香
				歩			桂	
				歩	王	王		
				歩	王			

持駒 飛

- 48 飛、57 玉、58 飛、46 玉、
- 56 飛、45 玉、46 飛、34 玉、
- 44 飛、25 玉、24 飛、36 玉、
- 26 飛、45 玉、46 飛、34 玉、
- 44 飛、25 玉、26 香、同玉、
- 46 飛、36 香、同飛、25 玉、
- 26 飛、34 玉、24 飛、45 玉、
- 44 飛、36 玉、46 飛、25 玉、
- 26 香、16 玉、25 香、36 香、
- 同飛、25 玉、26 飛、34 玉、
- 24 飛、45 玉、44 飛、56 玉、

☆「桂頭の玉、寄せにくし」。
四桂を柱とした狭い回廊の中、飛と香だけでどうやって詰めるのでしょうか？
鈴木彊―終着地点14と44の二つ考え14は91手でダメデシタ。香2枚持駒に必要であることがポイント。56で飛を捨てるのが2回とは素晴らしいものです。
☆有力なのは14とを消して玉を14で詰める筋ですが、どう頑張っても81手掛かりま

46 飛、57 玉、56 飛、同玉、
58 香、57 飛、同香、46 玉、
16 飛、26 香、同飛、36 香、
同飛、57 玉、56 飛、同玉、
58 香、57 飛、同香、46 玉、
44 飛、45 香、同飛、36 玉、
46 飛、25 玉、26 香、34 玉、
44 飛、同玉、46 香、45 飛、
同香、34 玉、44 飛迄79手。

☆手順は繊細で変化に富んでいます。飛追い1周目で26香を入手。次に逆回転で16香を消去。取られる位置へ移動する35手目25香のような好手も織り交ぜ、巧みに手を継続します。
堀田雅裕―2回目の飛車捨てが妙手。詰上りが分かっからでも手数に収めるのに苦労した。
☆その後舞台を5筋へ移し、一旦飛を捨てて合駒させて取り返し、盤上の飛を持駒の飛に変えます。この「盤上駒の持駒化」は後に再

す。正解は34玉型の詰上り。14とは単なる早詰防止の配置だったのです。
占魚亭―香2枚を持駒にするのに大苦戦。35手目25香がポイントとなる一手。
☆手順は繊細で変化に富んでいます。飛追い1周目で26香を入手。次に逆回転で16香を消去。取られる位置へ移動する35手目25香のような好手も織り交ぜ、巧みに手を継続します。

④協力自玉詰 46手
神無三郎

9	8	7	6	5	4	3	2	1
		歩	歩	歩	歩	金	金	王
			飛	金	香	香	王	歩
			桂	銀			歩	桂
				銀		桂	桂	角
						桂		
								王

持駒 飛角

- 24 歩、33 玉、23 歩成、同桂、
- 15 角、同桂、44 銀、23 玉、
- 33 銀成、同玉、35 飛、23 玉、
- 34 角、33 玉、89 角、34 角、
- 同飛、23 玉、24 飛、33 玉、
- 99 角、44 銀、34 飛、23 玉、

44 飛、33 玉、45 飛、23 玉、
 55 飛、33 玉、56 飛、23 玉、
 66 飛、33 玉、67 飛、23 玉、
 77 飛、33 玉、78 飛、88 歩、
 44 銀、23 玉、28 飛、89 歩成、
 34 桂、27 桂生迄46手。
 駒井信久「何もないとこから
 飛鋸の舞台装置を組み立
 てる雄大な構想。」

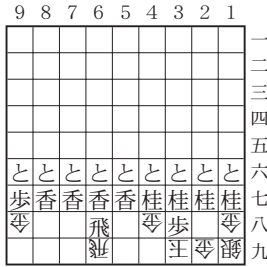
☆「遠見の角に好手あり」。
 桂を2段跳ねさせる伏線の
 な序奏に続き、角の最遠移
 動と最遠打（88角でなく99
 角なのは88歩合を可能にする
 ため）で飛鋸の軌道を作
 ります。目的は飛の28への
 大転換です。最後は双方の
 桂が跳ね、両王手で鮮やか
 に詰みます。

西村恒雄「序盤の1、2筋の
 細工が最後に実を結ぶ」。
 須川卓二「29銀配置で27桂し

かないとは思ったけど11桂
 が3回跳ねて止めを刺すの
 はお見事。

☆本作の影の主役は開き王手
 全編に渡って登場する開き
 王手が手順に一貫性を与え、
 飛鋸と桂3段跳の二つの主
 題を無理なく融合していま
 す。

⑤ PWC 打歩協力詰 193手
 たくぼん



「ひびく」なし

69 飛 / 68 飛、59 金、同飛 /
 69 金、48 玉、58 飛、49 玉、

59 飛、38 玉 / 49 歩、58 飛、
 39 玉、38 飛、49 玉 / 39 歩、
 48 飛、同飛生 / 68 飛、69 飛 /
 68 金、58 玉、68 飛 / 69 金、
 59 玉、58 飛、同飛生 / 48 飛、
 49 飛、68 玉、69 飛 / 49 金、
 78 玉、79 飛、88 玉、78 飛、
 99 玉、98 飛 / 78 金、89 玉、
 99 飛、88 玉、98 飛、79 玉、
 99 飛、89 金、同飛 / 99 金、
 68 玉、88 飛、59 玉、58 飛 /
 88 飛、69 玉、68 飛、59 玉、
 69 飛、48 玉、49 飛 / 69 金、
 58 玉、59 飛、48 玉、58 飛、
 39 玉 / 48 歩、59 飛、28 玉、
 29 飛 / 59 金、38 玉、28 飛、
 49 玉、29 飛、58 玉、59 飛 /
 29 金、48 玉 / 58 歩、49 飛、
 38 玉、39 飛、48 玉、38 飛、
 59 玉、39 飛、68 玉、69 飛 /
 48 玉、49 玉、69 飛、38 玉、
 68 玉、69 飛 / 79 金、89 金、
 89 飛、78 玉、79 飛 / 89 金、
 68 玉、69 飛 / 79 金、58 玉、
 68 飛、49 玉、69 飛、38 玉、
 39 飛 / 69 金、48 玉、38 飛、
 59 玉、58 飛、同飛生 / 28 飛、
 29 飛、48 玉、28 飛、38 歩、

同飛／28歩、49玉、48飛、
 39玉、38飛、29玉、28飛／
 38歩、同金／18飛、19飛／
 18銀、同銀成／18飛、28飛／
 18金、39玉、29飛、同金／
 18飛、38飛／18歩、同飛生／
 58飛、59飛、28玉、29飛／
 59金、同全／19飛、18飛、
 39玉、38飛／18飛、49玉、
 48飛、39玉、49飛、28玉、
 29飛／49全、38玉、39飛、
 28玉、38飛、19玉、18飛／
 38飛、29玉、28飛、同飛生／
 38飛、39飛、18玉、19歩
 迄193手。

【PWC】取られた駒は取つた駒が元あった場所に復元する(復元を/で表記)

【打歩】打歩詰以外の詰を失敗とする

☆「一歩千金」。打歩詰を達成するには38歩を持駒にせ

ねばなりません。PWCは駒を取りにくいルールですが、位置交換後に「二歩」や「行き所のない駒」になる場合は駒を取れます。これを踏まえ「歩を左辺に運び、二歩禁を利用して歩を受方に渡す」「渡した歩を合駒させる」「その歩を行き所のない駒にして持駒にする」の3工程で歩の入手を図ります。

某氏(無解)ー降参です。

☆方針が分かっても求解は容易ではありません。歩を移動するための空間の確保を逐次行うべきか、まとめて行うべきか迷います。後者の例は13手目から52手目や、109手目から132手目。すぐには効果が分からない伏線的要素を持つ難解な手順です。

【総評】
 加えて歩を一時的に元の筋に戻したり、銀を成銀に変えたり、受方の飛を成らなしい等の細かい工夫を積み重ねねばなりません。
 泉になると思います。

☆作者以外で最も正解に肉薄したのは駒井氏でした。作者以外で最も正解に肉薄まらない。(後略)
 【各題の正・誤・無解者数】
 ①1802②9011③10010
 ④7013⑤1019

☆作者以外で最も正解に肉薄したのは駒井氏でした。作者以外で最も正解に肉薄し、147手目に作意137手目に合流しています。作意より僅かに長手数ですが、渾身の解答でした。

【3題】弘光弘
 【2題】岩本修、鈴木彊、福原徹彦、
 【1題】川端潤、竹中健一、中村増一、原岡望、宮田敦史、山口勇、山本強志

【0題またはコメントのみ】市原誠、藤井美大

☆本作は難解なばかりではありません。詰上りは東京五輪に合わせたかのように金銀が9段目に整列します。その金銀よりも輝きを放つのが最終手19歩。千金に勝る一歩です。

【各題の正・誤・無解者数】
 ①1802②9011③10010
 ④7013⑤1019